

**2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部／研究科 英語英米文化学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 高麗大学校 自由専攻（英語英文学科）
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 3月 2日 ～ 2017年 12月 21日 出国日 2017年 2月 19日 最終帰国日 2017年 2月 7日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

最初は英語留学ということもあり、英語の能力をのばしたいという気持ちが強かったですが、韓国での生活を通して韓国語に慣れてくると、韓国語を学ぶ意欲がどんどん強くなりました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

個人的には英語の授業のため、英語の単語力をもっとあればと思うことはありました。

ビジネス英語や文学作品に出てくる単語は分からないものが多く、毎週ボキャブラリーの小テストをする授業もあったためそう思いました。当然留学前に現地の言語、授業で使用する言語を勉強すればするほど良いとは思いますが、もっと語学をできるようになってから来ればよかったなどの後悔は全くありませんでした。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

学習院の英語英米文化学科と類似しますが、比較的少人数のクラスが多かった印象です。韓国人の先生も英語のレベルが高い方が多く、専門的な分野もすべて英語で開講されている授業が多いです。先生方の連絡先がすべてシラバスに記載されていることもあって、履修の際や授業の質問を簡単にメールですることができたのはかなり助かりました。韓国人学生は、日本の学生よりも授業中の発言や授業後の質問を積極的にしている印象で、教授への質問は

しやすい雰囲気でした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

最初に見たときは、とにかくキャンパスの広さに驚きました。式会場も立派で、学科と生徒数が多いだけあって建物の数もかなり多いです。キャンパスの端にある教室から、逆の端へ移動するときは、15分近くかかり慣れるまでは少し大変でしたが、時間割の組み方次第で楽になります。食堂やコンビニ、カフェが校内にたくさんあるため、その点はとても便利でした。また、韓国では学習院と違って学校内にあるコピー機を使うことはほぼなく、基本的に学校周辺にある印刷専門の印刷屋さんで行います。授業で使うテキストも、本屋に売っているものではなく先生が選んで抜粋したオリジナルの教材を使う際は、指定された印刷屋さんで買うことになり、これは日本にはない仕組みなので最初は少し戸惑うかと思います。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

通常の授業の中にも、韓国語の初級1・2、中級1・2、上級にレベルわけされた授業があり、月曜から木曜まで週に4回勉強するものと、週に2回勉強するスピーキング、ライティング、リーディングに特化したクラスがあります。ただし基本的には4年間在校する正規留学生が履修する授業のために、交換留学生はウェイティングリストに名前を書く、ネットでの履修登録を早くするなど履修するのが困難な科目となっています。ただし最近では毎回これらの授業を希望する留学生が多いために、追加授業なども増えてきて、最終的にはどうにか履修可能になるケースがほとんどです。その他には、1学期が終わったあとの夏休みと、2学期が終わったあとの冬休みに約1か月間、週に4回ほどの韓国語語学授業が開催されます。これは基本無料で、指定された日数出席しない場合には2万円程度のお金がかかるとききました。内容は一般的な韓国語の語学の授業ですが、レベルが分かれているので、自分の韓国語レベルにあったクラスを選んで受講することができます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

高麗大学にはKUBAという交換留学生800人以上と、英語が得意な韓国人学生が一緒になったグループがあり、バディが必ずつくので、分からないことはなんでも気軽に聞くことができます。留学生の人数が多いのでバディは1対1ではありませんが、週に2、3回企画されている食事会やアクティビティを通して仲良くなることができます。他にも1学期に1度、国ごとに分かれてブースをだす文化祭があります。

学習院でいう国際交流センターにあたるグローバルサービスセンターがあり、スタッフは英語対応可能ですが、正直あまり良い印象ではありませんでした。とにかく留学生の数も多いため仕方ないとは思いますが、あまり一人一人に時間をかけた対応はして頂けないと思った方が良いでしょうが思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

高麗大学の奨学金があり、1学期に1度申し込むことができます。1年留学する場合には、1回目は留学前に申し込む必要があります。先生からの推薦状や、英語韓国語の自己評価等書類をいくつか提出して申請します。1学期目は奨学金をもらえる可能性が高いです。2学期目は、1学期に取得した高麗大学での成績が必要になるため、1学期に比べるともらうのが難しくなります。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

韓国の大統領選挙や北朝鮮のミサイル問題と留学時期が重なり、各地でデモは行われていましたが、大学周辺に関しては治安が悪く感じたことは一度もありませんでした。選挙の際は大学周辺でも選挙運動が盛んでしたが、危険なことはありませんでした。ただしミサイルの問題などは、韓国ではしょっちゅう起こるいつものことという認識があるので、危険かの判断は各自が行って行動すべきだと感じました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Introduction to Linguistics(3)	言語・教育コース講義(4)
Business English(3)	アカデミックプレゼンテーション(初級) I・II(2・2)
Business English Lab(1)	なし
Korean Speaking for Beginner(2)	朝鮮語 R(中級)(2)
近現代日本の映像文化(3)	比較文学(4)
English Grammar(3)	言語・教育コース講義(4)
American Film(3)	英米文学特別演習(2)異文化留学特別演習(2)
Advanced English Reading(3)	英語 R(上級)(2)
Practical Reading and Writing(3)	アカデミックライティング演習(中級)(2・2)
Intermediate Korean Speaking(2)	朝鮮語 C(中級)(2)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 (コシウォン)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 350000 ウォン、(日本円) 約 35000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (キッチンに常にご飯、キムチ、卵等あり)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他（ ）、計 1 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

これはどこの宿舎を選ぶかにもよりますが、基本的には韓国の部屋はおんどるといって、床暖房のようなものがあるので、冬でも室内では半ズボンで過ごせるくらいあたたかいです。私が住んでいたところは学校からすぐで、高麗大学周辺で一番栄えている通りにあったので、便利でした。キッチンには常にご飯や卵があり、たまに管理人さんがご飯を作ってくれ、アットホームな雰囲気良かったと思います。最初の学期は寮に住む人が多く、セキュリティ等が心配な方や友達を早く作りたい方はもちろんそれが良いかと思いますが、寮を利用して友達の話によると、キャンパスが広いので寮から教室までが遠い、坂がきつい、値段の関係で2・3人部屋を選ぶと生活リズムの差でストレスが溜まる、洗濯機が有料等のデメリットもあるようです。コシウォンはそれぞれ管理人さんの方針によっていろいろと違ってくるので、事前にサイトやメールを通して確認しておくことが大事だと思います。お手洗いやシャワー室が個別にあるところと共同のところ、部屋の中の窓の有無なども大きく変わってくる部分です。また、韓国では契約書のようながっちりしたものがない場合もあるので、契約内容や値段については、よく確認し、領収証やなにか証明になるものは常にとっておくことが必要かと思います。英語対応かどうか事前のチェックが必要です。ちなみにコシウォンは想像している以上に部屋が小さいので、そこは覚悟した方がいいかもしれません。アパートの場合はコシウォンと同じくらいか少し高いくらいなので値段で、もっと広くてまわりの住人の騒音もコシウォンよりは聞こえないので、かなりメリットは多いですが、前持って払わなくてはいけない補償金の金額がかなり多いので、留学生にはなかなか手が出しにくいことが多く、友達もほとんどが寮かコシウォンでした。

4. 費用について

(1) 学 費

協定留学なので学習院の学費のみ

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（ ）、(日本円) 約 2万 円程度

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 6-70000 ウォン 、(日本円) 約 6-7万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

学校の学生証を発行するときに韓国のハナ銀行のカードも一緒になって作れます。韓国はレストランやコンビニでは世界対応のクレジットカードが使用できますが、インターネットを使ったショッピングや予約等はほぼすべて国内のカードしか使用できないので、現金をウォンに換金し、それを韓国の銀行の口座に入れて使う機会が個人的には多かったです。申し込みや予約、振り込み等の予定がある方は現金もあった方が便利かな

と思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

たびほ

(2) 保険料

12万円程度

(3) 加入した保険の種類、内容

補償内容

傷害死亡：1000万円
傷害後遺障害：1000万円
疾病死亡：1000万円
治療・救援費用：3000万円
賠償責任長期（自己負担額なし）：1億円
生活用産産長期用（自己負担額なし）：100万円
手荷物遅延費用（実損払型）：10万円
航空機遅延費用（実損払型）：2万円
弁護士費用：100万円
テロ等対応費用：1万円
緊急一時帰国：なし
応急治療・救援費用：なし
歯科治療費用**：なし
合計保険料：128,570円
**オプションの歯科治療費用については、保険期間初日から90日経過してから開始した治療費用の50%を保険金としてお支払いします（待機期間90日、縮小割合50%）。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

幸いお世話になることはなかったのですが、良かった点悪かった点はよくわかりませんが、なにかあったら病院に行っても負担してもらえるとというのは安心だと思いました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

ちょっとしたインスタントのお味噌汁やお茶漬けはあったら便利だと思います。履修する授業やその他アクティビティへの参加頻度にもよりますが、外食が基本になると思うので、たまに宿舎で簡単に食べられるものがあったら良いかと思います。あとは、韓国と日本ではコンセントの差し込みプラグの形が全く異なるので、必ず差し込みプラグは持っていくべきだ

と思います。スマホやパソコンの充電をしながらドライヤーを使うなど、常に使うものなので、2つあると便利です。カフェや学校にもコンセントがたくさんあって、充電しながらパソコンを使うのが基本なので、外出の際も常に携帯しておくが良いです。基本的に生活に必要なものは現地で買え、高麗大の近くに住むのであればダイソーなどお店も多いので、困ることはあまりないと思います。薬や消毒液は韓国語がわからないと薬局での説明も難しいので、持参しておいた方が良いかなとは思いますが。また、課題提出や授業の資料はすべてPC上で行うので、必ずノートパソコンを持参しないと大変だと思います。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

プラグ同様電圧も違うので電圧の変換器を持っていきましたが、周りにも使っている人はおらず、 아이폰やPCなどは世界対応なのであまり必要なかったなと思いました。洋服も、日本からたくさん持ってくる必要はないと思います。コシウォンやアパートは特に、備え付けの洗濯機が古いことが多く少し傷みやすいので、現地で安く買った方が荷物の面でも良いかと思います。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特にありませんでした。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

1学期は月曜日から木曜日、2学期は月曜日から金曜日まで授業で、韓国語の授業を履修すると遅い時間帯の授業なので、基本的には朝から夕方まで学校にいました。宿舎がすぐ近所だったので、空きコマには帰宅することもありました。学校の中には24時間空いている自習室や、勉強ができるスペースがたくさんあるので、空きコマや授業終わりにはそこで勉強することも多かったです。試験が近いときや課題のあるときはカフェや自習室で日を超えるまで勉強することも多かったです。高麗大学生たちもかなり多くの生徒がカフェや自習室で夜中や朝まで勉強していました。24時間カフェも近所に多く、いつ行ってもほぼ満席状態でした。日本のカフェでは長居はできませんが、韓国では一日中いることも普通で、スタディカフェもあります。

(2) 週末

テストが近いと曜日に関係なくカフェにこもって勉強をする日も多かったです。それ以外は明洞、梨大、弘大、高速ターミナル、江南などでショッピングなどをしていました。映画も韓国では日本より安いので見に行く人も多かったです。また、コインレバンといって、2曲500ウォンのカラオケが韓国にはコンビニの数ほどあり、特に大学の近くにはたくさん並んでいるので、友達と行くことが多かったです。テスト週間にストレスが溜まると、お韓国学生はよく夜中に行っているようでした。韓国でもダンスが流行っていて有名なスクールもあるので、時間があるときはダンスを習うこともありました。

8. 後輩へのアドバイス等

履修登録は事前に日本からネットでしたり、韓国語留学をする場合でも留学生向けのメールはすべて英語だったり、授業のレベルが高かったりと最初はなれないことだらけで疲れることや焦ることがたくさんあると思います。また、いろいろなハプニングが当然ですがたくさん起こると思いますが、段々慣れてきて、楽しめる余裕も多少でてくると思うので、とにかく自分なりに頑張るしかないですが、ひとつひとつ落ち着いてやっていけばどんなこともなんとかなるなと思いました。特に韓国は、サービスやシステムが多少雑とも言われますが、逆に言えば融通が利くので、わからないことや困ったこと、頼み事は教授やサービスセンターになんでも相談したら一緒に考えてくれるという印象でした。英語の授業は、英語がペラペラな外国人も、ネイティブの学生もいて、英語留学をしたいけど韓国で大丈夫かなと迷っている人も十分に学べるレベルの高いものだと思います。日常生活では当然韓国語を使うことになるので、韓国語に興味をもっていないと大変だとは思いますが、2カ国語学習する意欲があり、いろんな国の人と交流したいという気持ちがある方は、留学生の数もとても多い高麗大学は留学先としてかなり満足できる場所だと思います。細かいことでも気になることがあれば覚えていく限りで伝えられるので高麗大学が選択肢に入っている方はなんでも聞いてください！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

単位交換は思っている以上に手続きも、結果が出るまでも時間がかかります。

事前に学科の先生や、気になるようであれば教務課の方に相談しておくことをおすすめします。単位交換に必要な資料を教えてもらえるのは基本的には留学後になるので、あまり知らないで帰ってからすべて準備しようとする、せっかく単位をとってきても交換できないケースもありますので、よく考えて履修をした方が良いでしょう。

単位交換にはシラバス、アカデミックカレンダー（学年歴）、成績証明書、時間割等が必要です。シラバスといっても、何時から何時に従業が行われたか、何曜日に行われたか、授業の内容、1学期を通した予定表などが含まれてなくてはいけないので、面倒ですが留学中に、それらのデータはしっかり保存しまとめておくと帰ってからがスムーズです。また、休講や試験の日は授業日数には含まれず、単位を交換するには学習院の授業時間数（1コマ90分×16週）の8割分の授業時間数を満たしていないといけませんので、そのあたりも頭に入れておかないと帰国後少し焦ると思います。単位を認められるには学科の先生たちの教授会や教務課での会議等にかかけられ学校中をまわってきてやっともらえる形なので、とにかく計画的に行ったほうが良いでしょう。